

戦前の渋沢水産史研究室の活動に関する調査研究

期間：2015年4月13日～2019年3月31日 [代表者] 加藤幸治（東北学院大学）
[共同研究者] 磯本宏紀（徳島県立博物館） 日高真吾（国立民族学博物館）
今井雅之（東北歴史博物館） 星 洋和（宮城県公文書館）
揖 善継（和歌山県立自然博物館） 増崎勝敏（大阪府立港高等学校）
佐藤智敬（府中市郷土の森博物館） 宮瀧交二（大東文化大学）
葉山 茂（国立歴史民俗博物館） 安室 知（日本常民文化研究所）

戦前・戦中における水産史研究の位置

——アチック同人の現地調査の意図をさぐる——

研究代表者 加藤 幸治

戦前に日本の常民文化研究の先鞭をつけた渋沢敬三は、主宰するアチック・ミュージアム（以下、アチック）の研究の柱を、「民具蒐集」「漁業史（水産史）研究」「文献索隠」と位置付けていた。本共同研究は、その水産史研究の実像に迫ろうとするものであるが、これまで2年間の研究と議論を経て、戦前・戦中における水産史研究そのものの位置に対する理解が、本研究の最も重要な課題であることが見えてきた。この課題に対し、3年目の研究では、水産史研究に深く関与したアチック同人らが、どのような意図をもってこのプロジェクトに参加し、そして現地調査に赴いていったのかを通じて追究していくこととなった。

戦中の渋沢敬三自身の水産史研究の中心は、魚名研究であった。これに関して今年度は、神奈川大学日本常民文化研究所所蔵資料の精査や、この研究を補佐していた宮本常一の現地調査についての追跡調査を行った。櫻田勝徳の調査研究については、主要なフィールドの一つであった志賀島での現地調査の具体像を明らかにする調査を実施した。塩業を中心に社会経済史的調査を行ってきた楫西光速については、瀬戸内の近代的製塩技術についての調査を行った。また、塩の道関連、三面川流域の調査、鰯揚繰網の追跡調査も行い、楫西の戦後の仕事との関連についても見出そうとした。戸谷敏之については、一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター所蔵の資料を調査した。またアチックの研究に深く関与した農村青年らの思想的背景や、農山漁村での労働の実践についても調査を行った。加えて、アチックミュージアム編『瀬戸内海島嶼巡訪日記』をはじめとする巡検に関する追跡調査も重視した。伊豆川浅吉については、彙報やノートとして刊行に至らなかった土佐捕鯨以外の地域の捕鯨についての調査について、追跡調査を実施した。



写真1 国立民族学博物館にてアチック同人蒐集の民具の熟覧調査

こうしたアチック同人らの調査研究の追跡調査によって、戦時体制に向かっていくなかでの、水産業振興や食糧としての水産資源の確保といった面から、水産史研究が意義づけられていたことが浮き彫りとなりつつある。また、個々人の問題意識のなかでは、マニファクチュア論争をはじめとする当時の経済史の動向への対抗、農村青年の思想と実践といった、水産史研究のプロジェクトそのものの趣旨

とは違う課題が強く意識されていたことも見えてきた。

また今年度は、神奈川大学日本常民文化研究所の協力を得て、未完の筌研究の基礎資料となる台帳の活字化作業も進めることができた。これらは最終報告書に掲載予定であるが、データの精査によって筌研究によって目指したものが何であったか、また民具研究との関係性はいかなるものであったかなどを明らかにしていきたいと考えている。

本共同研究は、最終年度を終えて成果をまとめていく段階に入った。まずは共同研究フォーラムで、研究成果を共有しつつ議論を深め、最終報告書作成の準備としたい。



写真2 長崎県福江島の三井楽の西海捕鯨の遺構カグラサン跡

■活動データ

2017年度の活動

- 瀬戸内沿岸部における製塩業に関する調査 2017年7月13日～16日
三田尻塩田記念産業公園、赤穂市立歴史博物館、赤穂市立海洋科学館、鳴門市立図書館 星洋和
- 『志賀島記』調査 2017年8月1日～3日 慶應義塾大学文学部古文書室 増崎勝敏
- 志賀島七夕祭観察調査・巡検 2017年8月6日～7日 福岡県福岡市東区志賀島 増崎勝敏
- ハコフグの剥製に関する再調査 2017年8月6日～7日 福岡県福岡市東区志賀島 増崎勝敏
- 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』に関する調査 2017年9月9日～11日 香川県三豊市志々島、香川県観音寺市伊吹島 磯本宏紀
- 成果発表会打合せ、資料調査 2017年9月25日
日本常民文化研究所、味の素高輪研修センター内図書室 加藤幸治・安室知
- 吉田三郎関係資料調査 2017年10月2日～3日 秋田県大仙市、農業科学博物館、潟上市 今井雅之
- 筌研究関係資料撮影 2017年10月23日、11月6日、11月29日 日本常民文化研究所 加藤幸治
- 戸谷敏之関係資料の調査 2017年11月8日～9日 一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター 今井雅之
- 第1回共同研究会、米ヶ袋地区巡検 2017年11月4日 東北歴史博物館、東北学院大学、東北大学史料館、宮城県仙台市青葉区米ヶ袋地区 加藤幸治・今井雅之・揖善継・佐藤智敬・星洋和・増崎勝敏・安室知
- 国立民族学博物館資料検索・研究会打合せ 2017年12月5日～6日 国立民族学博物館 加藤幸治
- 平戸市の定置網に関する情報交換及び平戸市、唐津市巡検 2017年12月9日～11日
平戸市生月町博物館島の館、平戸市生月町中央公民館、唐津市鯨組主中尾家屋敷ほか 磯本宏紀
- 塩の道に関する調査 2018年1月19日、1月22日 長野県大町市、松本市、愛知県豊田市足助地区 星洋和
- 第2回共同研究会、水産史研究室の活動と民具蒐集の関係についての資料熟覧調査 2018年1月20日～21日
国立民族学博物館 加藤幸治・増崎勝敏・日高真吾・佐藤智敬・磯本宏紀・星洋和・今井雅之・葉山茂・宮瀧交二、神野善治(武蔵野美術大学)
- 地島・相島におけるハコフグ調査 2018年2月9日～11日 福岡県宗像市地島、新宮町相島 増崎勝敏
- 西海捕鯨・関門捕鯨に関する現地調査 2018年3月7日～9日 長崎県五島市福江島・中通島(五島列島各所)、五島観光歴史資料館、岐宿資料展示室、富江歴史民俗資料館、三井楽町柏 加藤幸治
- 戦後の楢西光速の活動に関する調査 2018年3月8日～9日 国立国会図書館、塩事業センター 星洋和
- 鰯揚繰網等関連調査、三面川サケ漁・サケ養殖関連予備調査 2018年3月10日～12日 茨城県ひたちなか市、那珂湊漁港、おさかな市場、ひたちなか市立那珂湊図書館、大洗町、大洗磯前神社ほか 日本常民文化研究所 星洋和
- 第3回共同研究会 2018年3月12日 日本常民文化研究所 加藤幸治・磯本宏紀・佐藤智敬・星洋和・安室知
- 鯨肉食関連文献複写 2018年3月13日 味の素食の文化センター図書室 加藤幸治
- 進藤松司関係資料調査 2018年3月14日～15日 広島県東広島市安芸津町 今井雅之
- 宮本常一関連漁業制度資料調査 2018年3月14日～17日 山口県周防大島、高知県梶原町、四万十町 佐藤智敬
- 資料調査および宮本常一の調査追跡 2018年3月18日～22日
五島観光歴史資料館、岐宿資料展示室、五島市杵島、小値賀町歴史民俗資料館 佐藤智敬
- 山口県下関市調査 2018年3月21日～23日 山口県下関市、市内港湾部、市立しものせき水族館海響館 加藤幸治
- 福岡湾岸島嶼ハコフグ調査 2018年3月23日～25日 福岡県市東区志賀島・弘・勝馬、西区能古 増崎勝敏
- 三面川サケ漁およびサケ養殖に関する調査 2018年3月24日～26日 新潟県村上市、イヨボヤ会館ほか 星洋和
- 戸谷敏之関係資料調査 2018年3月25日～27日 長崎県長崎市、熊本県天草市、長崎県大村市 今井雅之